

今日も、そこにいます。

会社説明資料



共栄セキュリティーサービス株式会社
東証スタンダード（証券コード：7058）
代表取締役社長 我妻 文男

- 1. 会社概要**
- 2. 事業内容と強み**
- 3. 成長戦略（M&A）**
- 4. サステナビリティ**
- 5. 株主還元**



1. 会社概要



会社概要・株式情報

会社概要

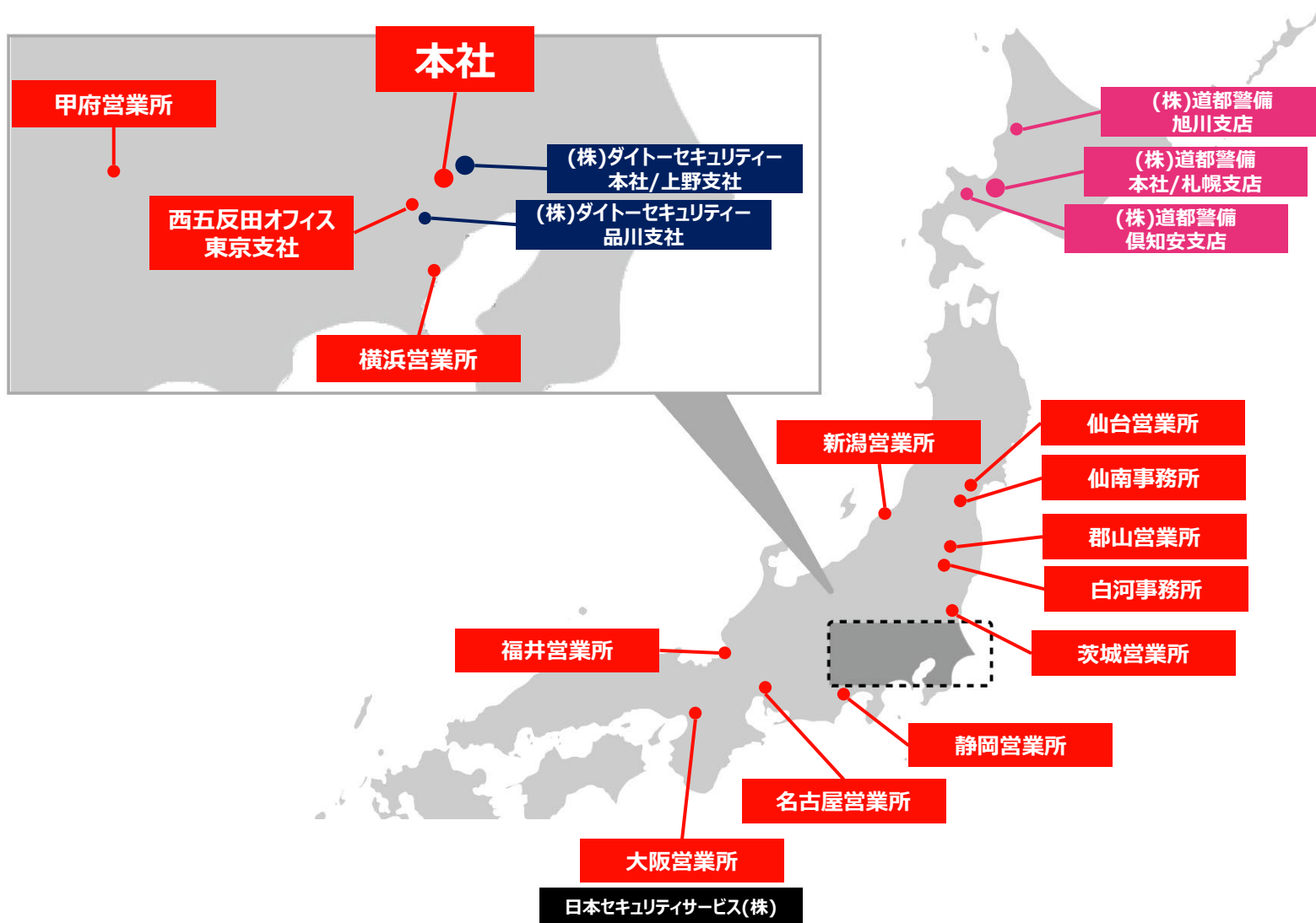
商号	共栄セキュリティーサービス株式会社 Kyoei Security Service Co., Ltd.
設立	1985年(昭和60年)5月15日
本社所在地	〒102-0074 東京都千代田区九段南1丁目6番17号 千代田会館
電話番号	03-3511-7780 (代表)
代表者	代表取締役社長 我妻 文男 (あづま ふみお)
資本金	1億円 (2022年8月1日現在)
事業内容	施設警備業務を主力として人的警備に特化 マンション代行管理、駐車場運営管理などの隣接業種
グループ会社	株式会社道都警備 (北海道札幌市) 日本セキュリティーサービス株式会社 (大阪府大阪市) 株式会社ダイトーセキュリティー (東京都台東区)

株式情報

発行済み株式総数	1,506,500株
株主数	965名 (2022年9月30日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (7058) 2019年3月18日新規上場



本社・拠点マップ



連結事業所数

20

拠点



連結従業員数

1,991

名

(2022年9月30日現在)



会社沿革

交通誘導警備業務で創業

1985年 共栄セキュリティーサービス株式会社設立、交通誘導警備業務を開始
1992～97年 静岡県、福島県、宮城県に進出

施設警備業務への本格参入

2000年 大型複合商業施設の施設警備業務を開始

大規模イベントやボディーガードなど、幅広い人的警備を展開

2002年 サッカー世界選手権大会の警備を実施（宮城、埼玉、新潟、静岡）
ボディーガード（身辺警護）の提供を開始

施設警備業務の成長と更なるエリア展開

2006年 世界的企業本社の施設警備業務を開始
2008年 愛知県に進出
2011年 大阪府に進出
2015年 駐車場運営管理業務を開始
北海道に進出、(株)道都警備（北海道札幌市）を完全子会社化

上場と世界的スポーツイベントへの挑戦

2019年 東京証券取引所JASDAQに新規上場
ラグビー世界選手権大会の警備を実施（東京、横浜、静岡）
2020年 セコム(株)と資本業務提携
2021年 世界的スポーツイベントの警備を実施（東京、宮城、茨城、札幌）

M&Aによるグループ成長へ

2022年 日本セキュリティサービス(株)（大阪府大阪市）を完全子会社化
(株)ダイトーセキュリティー（東京都台東区）を完全子会社化



外国人タレントのボディーガード



上場セレモニー（2019年）



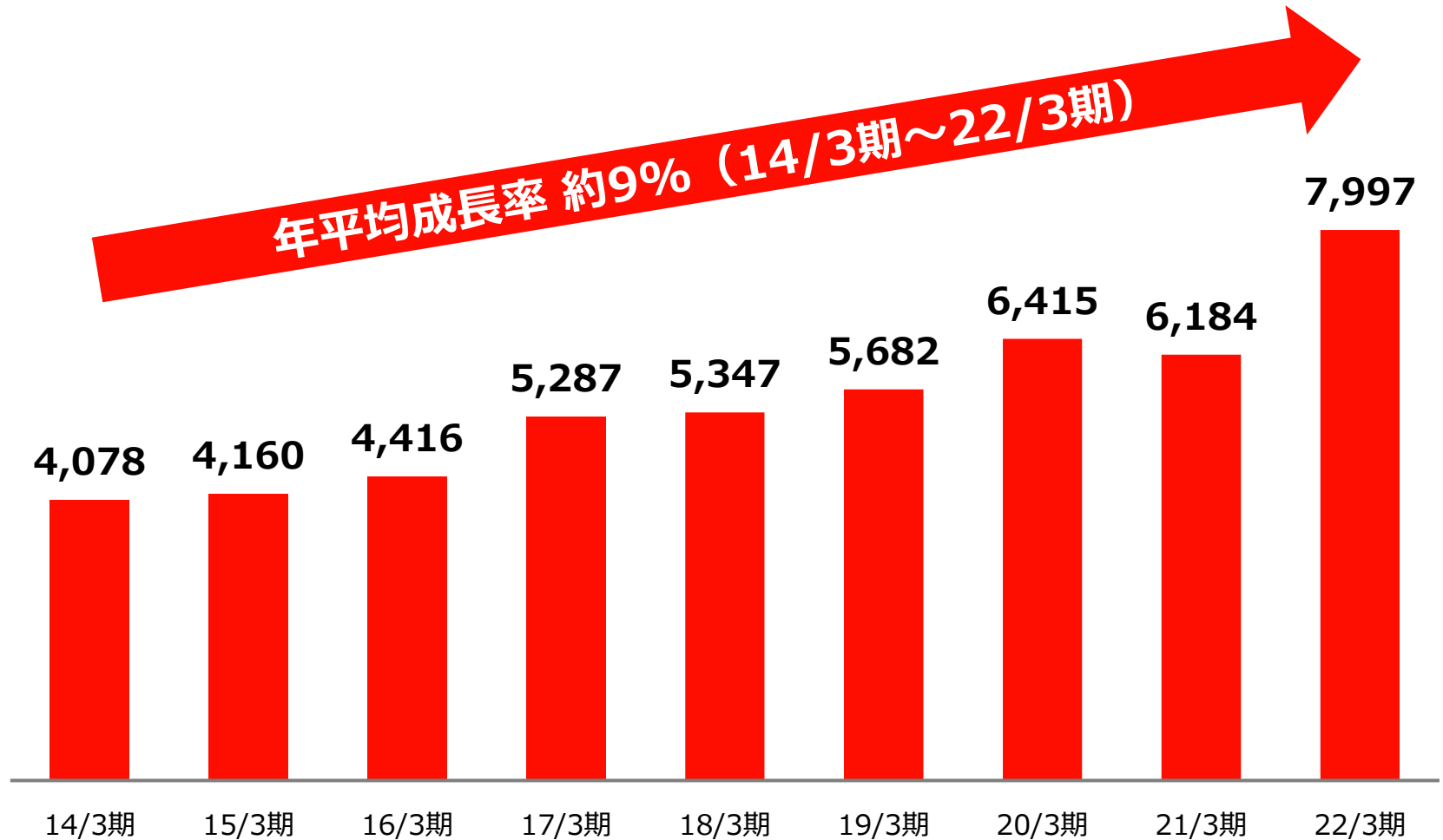
ラグビー世界選手権大会警備でのスクリーニング業務（2019年）



世界的スポーツイベントの会場警備（2021年）

連結売上高の推移

(百万円)



2. 事業内容と強み



事業内容

警備事業

関連事業



ビルなどの建物施設



施設警備



レセプション・コンシェルジュ



駐車場警備



空港消防業務



マンション代行管理



駐車場運営管理
(障害対応)



道路など公共の場所



イベント警備
(雑踏警備)



交通誘導警備



ハイウェイ・セキュリティー



人

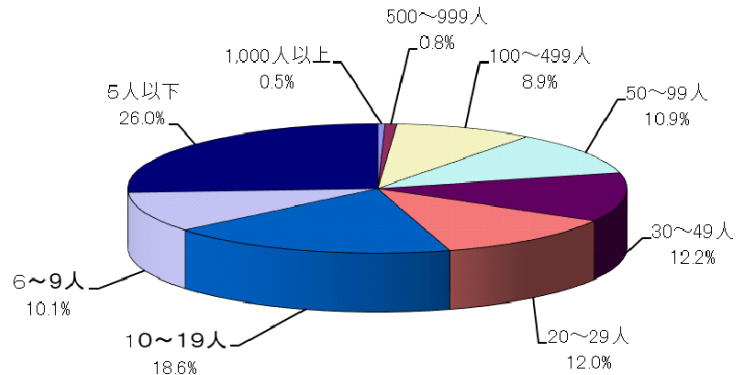


ボディガード
(身辺警護)

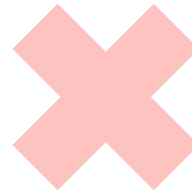


当社の強み①：業界内で数少ない動員力と広域展開

警備業者の警備員数別の状況(令和3年末)

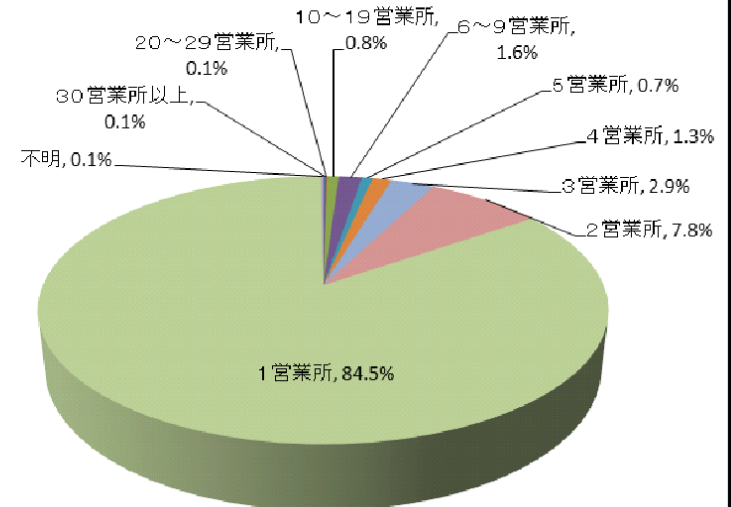


**10,359業者のうち、
警備員数1,000人以上は49業者(0.5%)
当社の動員力は優位性を持つ**



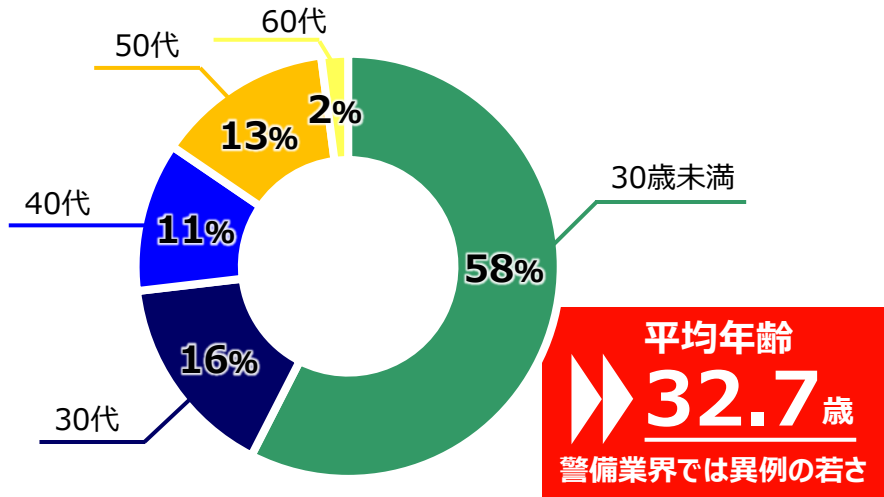
**10,359業者のうち、
営業所数10以上は110業者(1.1%)
当社の広域展開は優位性を持つ**

警備業者の営業所の数別状況(令和3年末)

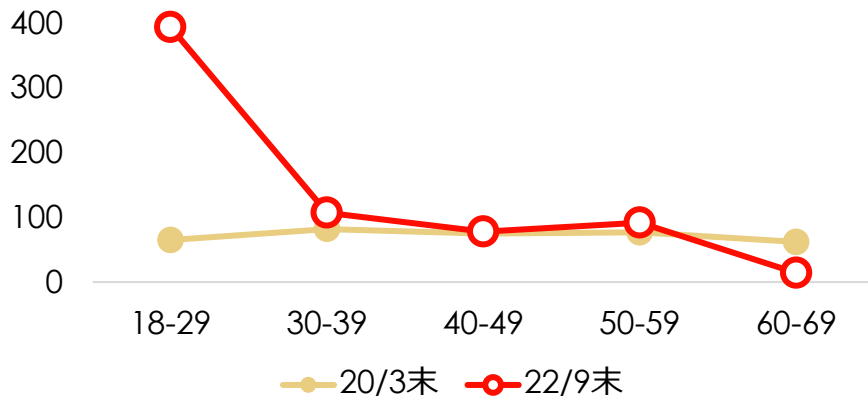


当社の強み②：正社員の構成からみる将来性

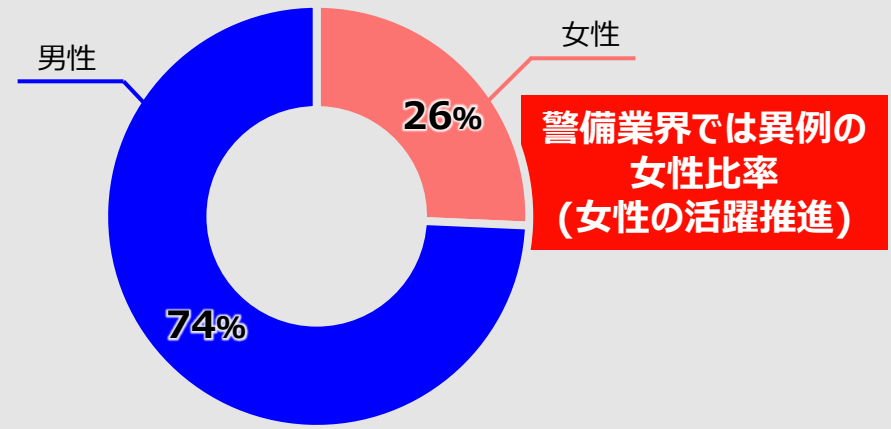
当社(単独)正社員の年齢構成図



20/3末→22/9末の変遷



当社(単独)正社員の男女比率



女性比率



3. 成長戦略 (M&A)



人的警備で「売上高800億円、2万人体制」を目指す

国内警備業の市場規模

約3兆5000億円 / 約60万人

うち「人的警備」市場

約2兆8000億円

当社グループの目指す規模

売上高 **800億円** / **2万人**

現在

売上高 約**80億円** / **2千人**

業界データの出所 警察庁生活安全局生活安全企画課「令和3年度における警備業の概況」
公益社団法人日本防犯設備協会「2020年版 統計調査報告書」

M&Aにより業界の課題を解決

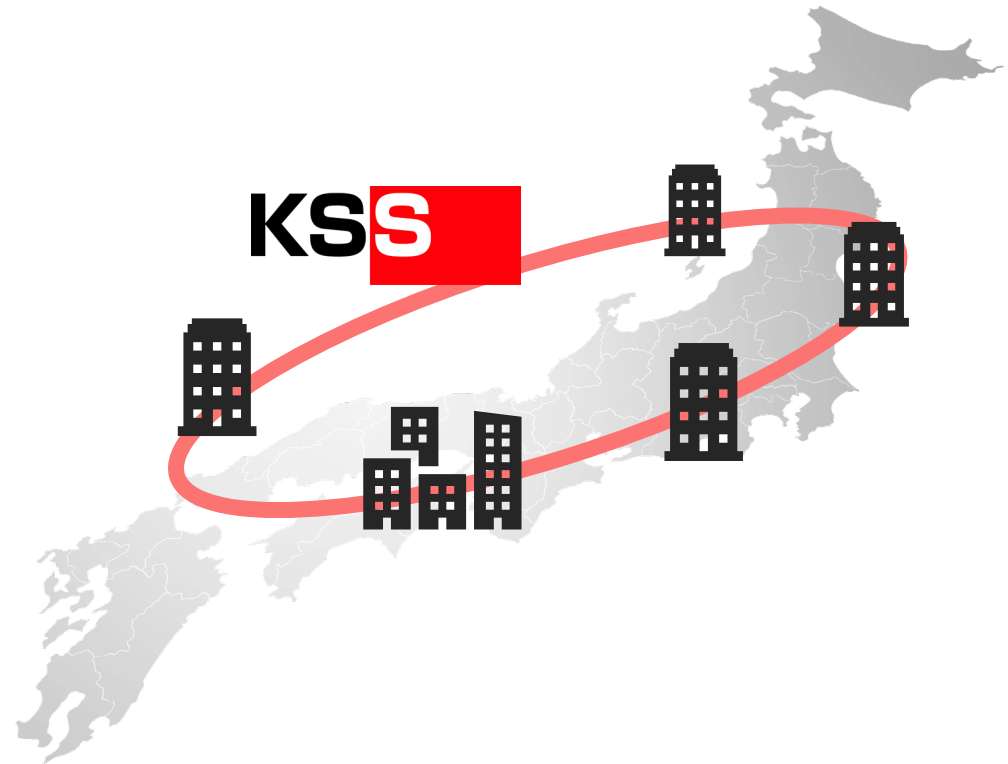
警備業界を取り巻く経営課題

- 警備料金が上がらない
- 募集しても人が集まらない
- ゼロゼロ融資の返済本格化

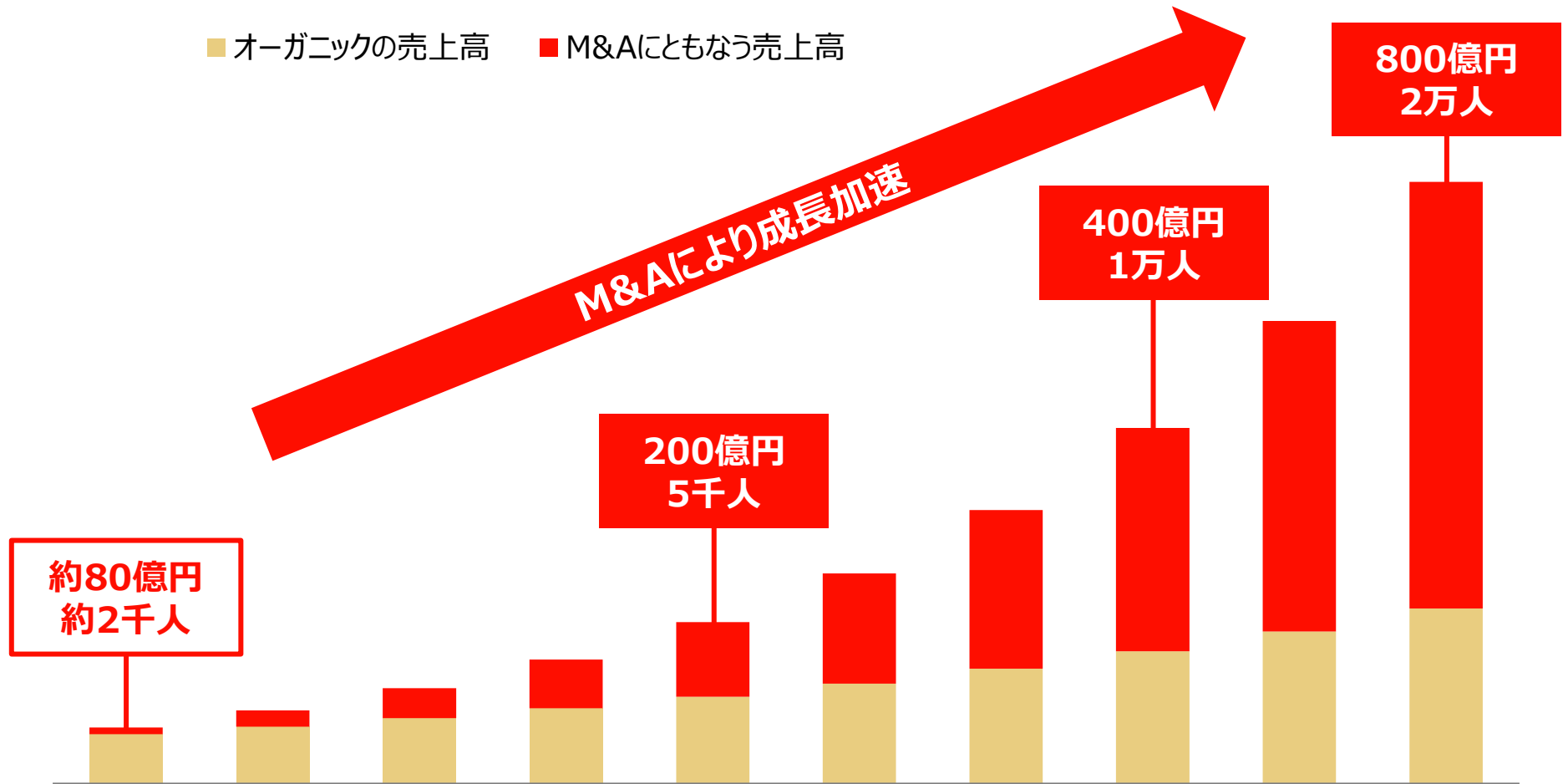
M&A（経営統合）

警備業界を取り巻く経営課題を解決

- 全国47都道府県をカバーするプラットフォーム構築、規模の強さによる警備料金の改善
- スケールメリット及びバックオフィスDXによる販管費の削減
- これらにより生み出した利益を従業員に還元することにより人材確保を実現



M&Aによる売上高及び人員数の成長イメージ



警備会社を対象とした主なM&A（2018年以降）

実行日	内容
2018年8月31日	セコム、東芝セキュリティ(現セコムトセック、川崎市)の株式取得(80.1%)
2019年7月3日	トスネット、北日本警備(札幌市)の全株式を取得
2020年5月14日	セコムと共栄セキュリティーサービス、資本業務提携
2020年9月1日 2020年10月1日	セコム、マレーシアとシンガポールの2社の全株式を取得 *実行日：2020年9月1日(マレーシア)、2020年10月1日(シンガポール)
2020年12月25日	エルテスセキュリティインテリジェンス(現AIK、東京都)、アサヒ安全業務社(現And Security、横浜市)の全株式を取得
2021年6月30日	セントラル警備保障、ワールド警備保障(現CSP東北、仙台市)の株式を追加取得(31%→67%)
2021年10月8日	アウトソーシング、アーク警備システム及びアークミライズ(いずれも東京都)の全株式を取得
2022年3月16日	AIK、ISA(札幌市)、SSS(札幌市)の全株式を取得
2022年4月4日	共栄セキュリティーサービス、日本セキュリティサービス(大阪府)の全株式を取得
2022年4月28日	東洋テック、五大テック(大阪府)の全株式を取得
2022年7月1日	セコム、セノン(東京都)の株式取得(55.1%)
2022年8月17日	共栄セキュリティーサービス、ダイトーセキュリティー(東京都)の全株式を取得



4. サステナビリティ



環境への取り組み（E）



気候変動

- 自社所有施設における太陽光パネルの設置
- 事業所の統廃合による使用電力量の削減



省資源

- 取締役会など会議体のオンライン化によるペーパーレス化
- クラウドPBXによる電話機、FAX用紙の削減
- 女性制服リニューアルによる点数見直し

人財への取り組み (S)



ダイバーシティ&インクルージョン

- 女性社員比率26%(2022/9末時点)
- 女性管理職比率14.6%(2022/3末時点)
- ジェンダーの平等や女性のエンパワーメント
(勤務シフトの男女共通化など)



社員の成長と活躍、社員エンゲージメント

- “One Person, 10 License”を標語とした資格取得支援
- 基幹人材の成長を支援するKアカデミー(社員教育体系)
- 社員持株会制度における奨励金支給
- GLTD(団体長期障害所得補償保険)
- ラウンダーによる職場巡回



コーポレート・ガバナンスへの取り組み（G）



企業倫理とコンプライアンス

- ・ 行動規範を指針とした企業文化の醸成



CG体制の強化

- ・ 役員構成(取締役2/5名が社外、監査役3/3名が社外)
- ・ 役員の経験・専門性(スキルマトリックス)の開示



リスク管理

- ・ 勤務分離や安否確認等の新型コロナ対策



情報セキュリティ

- ・ ISO27001（ISMS）及びPマークの認証取得



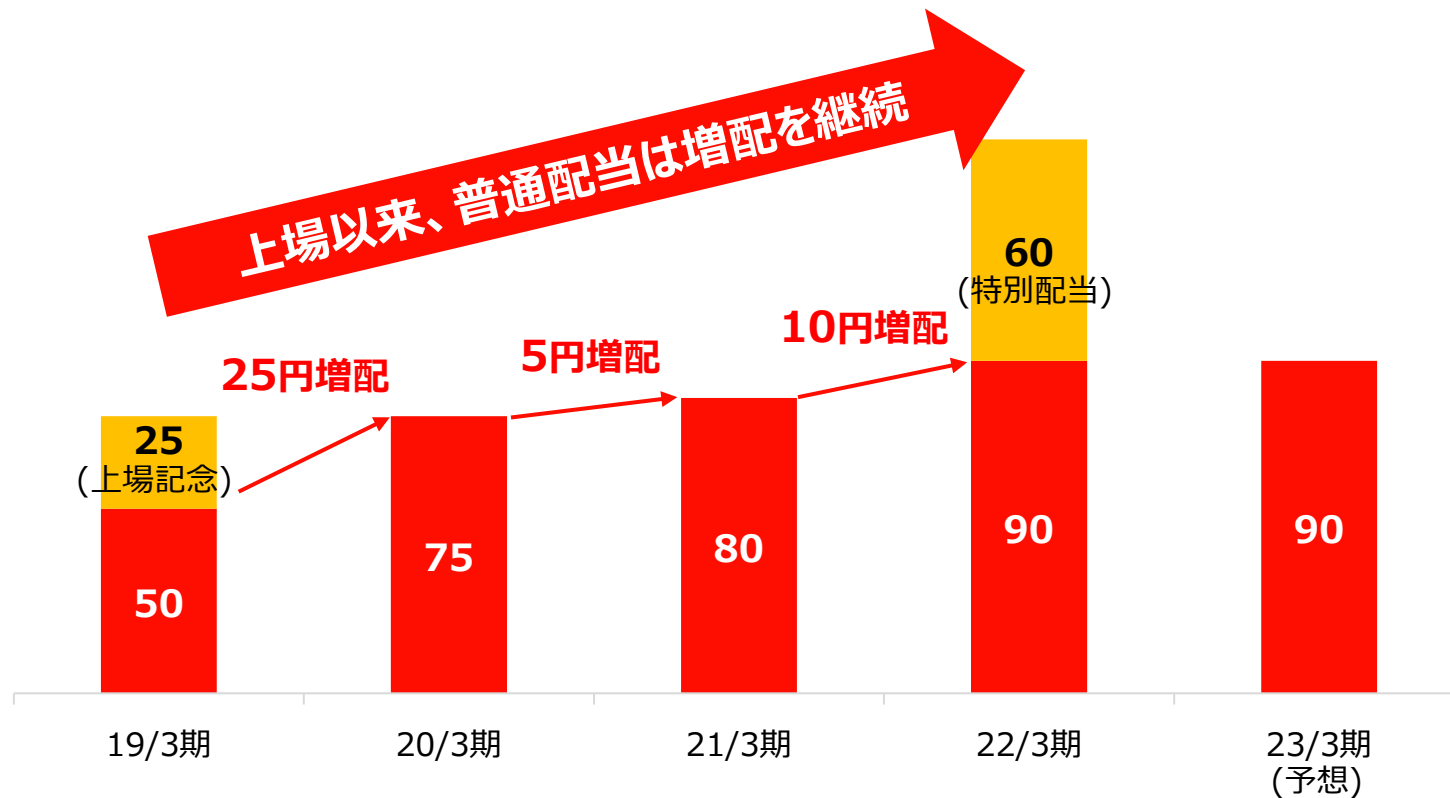
5. 株主還元



基本方針と1株当たり配当金の推移

■ 株主還元の基本方針

株主の皆様への利益還元は、安定的かつ継続的に利益配分を行うことを基本方針としております



今日も、そこにいます。

